

地盤工学会関東支部 平成 23 年度第 1 回評議員会 議事録

日 時：平成 23 年 10 月 27 日（木） 16：00～17：20

場 所：地盤工学会会館 地下大会議室

出席者：＜評議員＞正垣孝晴氏・小笠原政文氏・楠木保郎氏（小池幸男氏の代理）・木村康則氏・有賀茂氏・石井雄輔氏・三反畑勇氏・平山光信氏・今村遼平氏・中村裕昭氏・鈴木誠氏・三藤正明氏・伴夏男氏・阿部博氏（阿部有司の代理）・金道繁紀氏
＜支部役員＞國生支部長， 内藤副支部長， 佐伯副支部長， 赤木副支部長， 太田顧問， 小椋支部監事， 岸田支部監事， 菊池幹事長， 佐藤副幹事長， 高橋副幹事長， 末岡オブザー

委任状：評議員 33 名

1. 支部長挨拶と議長選出

國生支部長より、「東日本大震災を経て、当学会が社会から期待される位置づけとなり、会員の活発な活動により関東地方整備局から感謝状をいただくことができました。液状化現象での住宅被害など地盤を取り巻く我々のなすべきことが山積している一方、会員数減というギャップも抱えている。」という課題を織り交ぜた挨拶が行われた。

引き続き、支部規程に則り國生支部長が議長に就かれた。

2. 出席者数の確認

現評議員数 53 名のうち、出席者数 14 名、委任状 33 通、計 47 名の出席（出席率 88%）により、本評議員会の成立（評議員の過半数の出席により成立）を事務局より報告した。

3. 【1. 役員体制の変更（案）】

菊池幹事長より、評議員 9 名の変更案について説明を行った。

以上の役員体制変更案は、挙手による採決の結果、挙手 15 名、委任状 33 名、合計 48 名により承認された。（評議員会成立確認時から本議案採決時まで、出席者が 1 名増となっている）

4. 【2. 上期活動報告と下期活動予定（案）、上期正味財産増減状況】

菊池幹事長より、上期の活動内容に関する報告と、下期の活動予定（案）について説明を行った。

佐藤副幹事長より、上期正味財産増減状況について報告を行った。

《質疑》

末岡徹オブザーバーより、関東支部の活動が活発に行われているが、事務局の体制は十分かとの質問があり、菊池幹事長より職員 1 名のほかアルバイト 2 名を雇用し、現状過度な負担は無いとの説明があり、支部長からも研究委員会の数が増えて事務量が増える心配があるが、今のところは大丈夫であるとの説明があった。

鈴木誠評議員より、研究委員会が多くあるが、本部にも調査部があり、全体的なバランスとして本部での全国的な活動を阻害することはないかとの質問があり、菊池幹事長より関東支部の研究委員会は 1 年 3 委員会まで設けられ、活動期間 3 年としているので最大 9 委員会を目安としており、他の支部の人も委員になれるものとし、大支部として活動活性化の責任

を果たそうと考えているとの説明があった。また、支部長からも、この問題は支部を作る時から議論しており、本部との重複を避け、本部の負担を軽減でき、本部でなくても良いことを分担する考えであるとの説明があった。

太田秀樹顧問より、地盤工学会館という場の利用が増え、ここに来れば誰かが居り、抱えている問題について腹を割って話し合えるようにすることで、会員活動が活性化できればとの意見をいただいた。

以上の質疑の後、挙手による採決の結果、挙手 17 名、委任状 33 名、合計 40 名により報告内容は了承された。(評議員会成立確認時から本議案採決時まで、出席者が 2 名増となっている)

5. 【3. その他】

菊池幹事長より、国土交通省関東地方整備局から感謝状を頂戴したことについて紹介された。

6. 閉会の挨拶

「以上で本日の議案の審議はすべて完了いたしました」との議長の発言をもって閉会した。

以上

議事録作成 佐藤謙司